

平成28年度第1回（第50回）CPDプログラム委員会議事録

日 時：平成28年4月28日（木） 10:00～12:15

場 所：日本工学会会議室

出席者：日比谷啓介委員、上田健之委員、保田佳之委員、宮元均委員、
石原直委員長、木村軍司幹事

オブザーバ：広崎膨太郎会長、鈴木忠道様

配布資料

資料1-1 平成27年度第6回（第49回）CPDプログラム委員会議事録（案）

資料1-2 日本工学会 CPD 協議会 CPD プログラム委員会構成（H28.4.28）

資料1-3 平成28年度第1回 CPD 協議会シンポジウム

1 前回議事録の確認

資料1-1の議事録案は、異議なく承認された。

但し、4項のCPDポータルサイトに関して、現在開催されていないので、どのような状況になっているのか、広崎会長が確認することになった。

また、7項のOUTLOOKに関して、広崎会長から次回には提示したい旨の発言があった。

2. 平成28年度第1回CPD協議会シンポジウムについて

資料1-3に基づいて、5月27日（金）に地盤工学会会議室で開催される、平成28年度第1回CPD協議会シンポジウムの説明があった。特別講演は、野中ともよ氏の「グローバル時代に求められる人材」で、これ以外に5件の講演がある。

3. QRコードについて

上田委員から以下のような説明があった。

QRコードを用いたCPD登録システムは、2種類あり、1) CPD Log Front および2) CPD Log Manager である。

1) CPD Log Front は、既にCPD登録システムが構築されており、各自手入力するような場合に、入力を補助し、登録を簡単にするシステムである。スマホによって、QRコードを読み込むことで、一時的にデータを取り込んでおき、その後、学協会のCPD登録システムに転記する。但し、ガラ系の携帯電話には対応できない。

事務局は予めQRコードをスマホから読み込んで、講習会等のプログラム名と結び付けておく。会員は、講習会等の会場でQRコードをスマホで撮るだけでよい。

従来のように特別な読み取り装置や会員カードなどは必要ないため、安価に構築ができる。

2) CPD Log Manager は、CPD登録システムが何もない学協会に対して、これだけで登録システムが構築出来るものである。それ以外の取り扱いは、CPD Log Front と同様である。

これに関して以下の議論があった。

協議会全体に広める価値がある。工学会として進めるにはどのように整理するか。開発者と契約が必要であり、予算的なことも問題になる。責任をどうするか。システムを維持するための体制をどうするか。各学協会へはどのように呼びかけるか。各学協会に呼びかけるには、学協会の必要度に応じた分かりやすいメニューを提示することが必要である。今後検討チームを作って議論を進めるようにしたい。

また、講習会等プログラムの質の審査に関して問題点が指摘されたが、これまでも議論してガイドラインが作られ、各学協会に任せるようになっているので、ここでは議論しないことにした。

次回開催：6月30日(木) 10:00～12:00 日本工学会会議室

以上